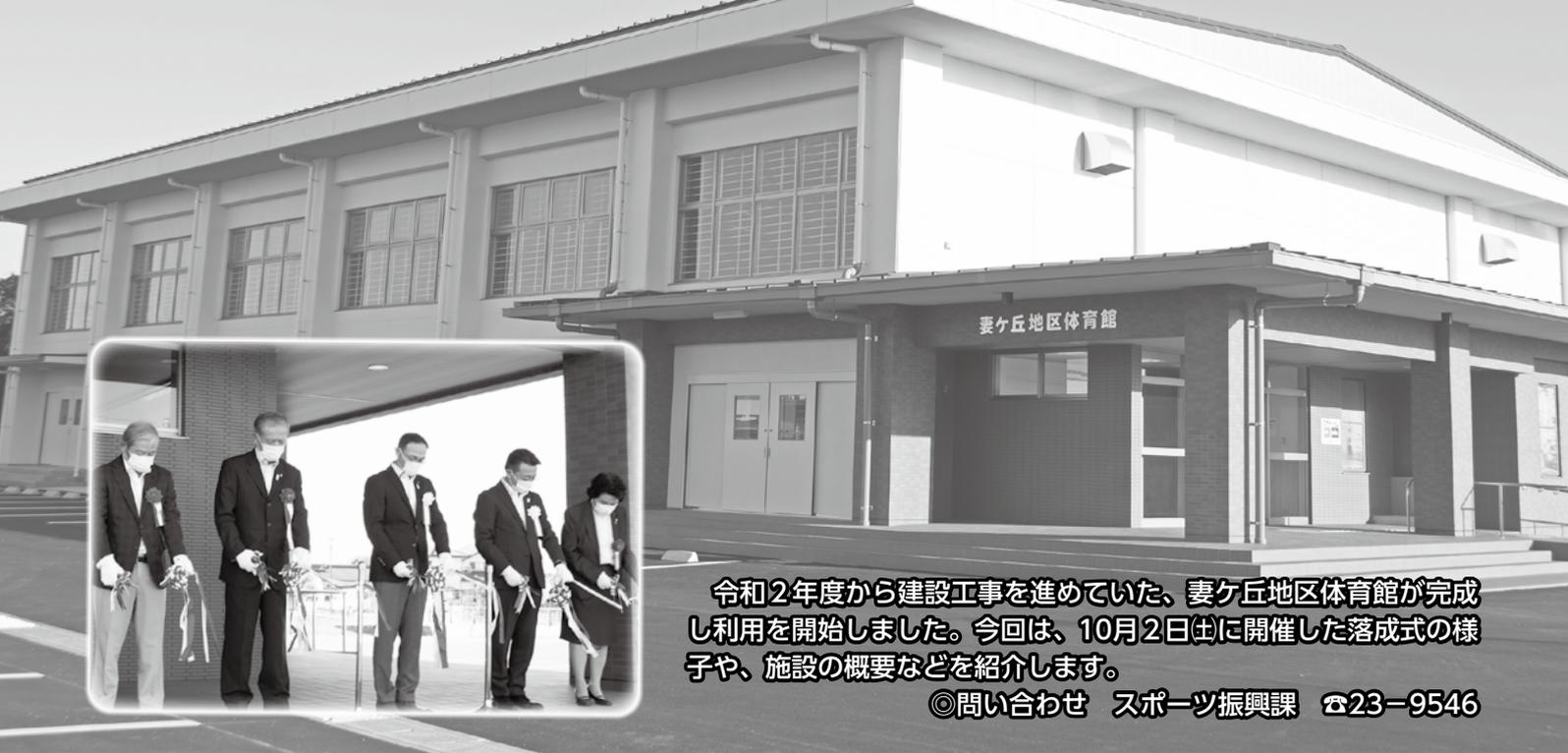


上長飯一万城地区体育館が 妻ヶ丘地区体育館として新たに完成!



令和2年度から建設工事を進めていた、妻ヶ丘地区体育館が完成し利用を開始しました。今回は、10月2日(土)に開催した落成式の様子や、施設の概要などを紹介します。

◎問い合わせ スポーツ振興課 ☎23-9546

落成式



市は10月2日、地区住民の代表や関係者を招いて、妻ヶ丘地区体育館の落成式を開催しました。

式典では、妻ヶ丘地区自治公民館連絡協議会の堀川渉会長が「大きな駐車場も整備され、大変便利になった。妻ヶ丘地区の拠点として、多くの皆さんにこの体育館を利用してほしい」と力を込めました。

式典終了後は、記念のテープカットを行い、施設の完成を祝いました。

施設概要

- 所在地 一万城町14号1番地2
 - 構造 鉄筋コンクリート造
 - 延床面積 約896平方メートル
 - 事業費 約3億8,380万円
- 昭和51年に建築した上長飯一万城地区体育館は、バレーボールやミニテニスなどの競技の場として、一般だけでなく部活動でも利用されてきました。
- しかし、築42年が経過した平成30年に耐震診断を実施したところ、耐震補強が困難と判明。このことから今回、都城東公園へ移転・新築し、名称も新たに妻ヶ丘地区体育館として生まれ変わりました。

主な設備

- 財源
 - ↳スポーツ振興くじ助成金 1,600万円
 - ↳公共施設等適正管理推進事業債 3億4,610万円
 - ↳一般財源 約2,170万円
- アリーナ(多目的室)
 - バレーボールコート2面(ミニバレーボールコート4面分)を確保。
 - また、トイレなどとアリーナとの間に廊下を設けていて、競技中でもスムーズに移動ができます。
- その他 男女トイレ、多目的トイレ、女子更衣室、器具倉庫など
- ※全てバリアフリー設計
- 駐車場 体育館前47台、南側駐車場50台